令和８年９月４日
地域デジタル推進課 四柳・竹本
外線：076-225-1320

令和 8 年 8 月 27 日からの大雨における遠隔飛行のドローンを活用した被害状況の把握について

県では、令和 8 年 8 月 27 日からの大雨への対応として、ＫＤＤＩスマートドローン株式会社が志賀町役場に整備した遠隔飛行のドローンを活用し、「ため池」や「河川」の被害状況の把握を行いましたので、お知らせします。

今回の対応では、志賀町役場のドローンポートから離陸したドローンを東京都内から遠隔操縦するとともに、石川県庁や志賀町役場からリアルタイムで現地の様子を映像で確認しながら飛行を実施し、現地へ職員を派遣することなく被害状況を確認しました。

記

１ 実施概要

（１）実施期間：令和 8 年 8 月 27 日（木）から 30 日（日）

（２）実施場所：志賀町役場ドローンポートを拠点として、志賀町内のため池及び河川を飛行・撮影

（３）実施内容：・農業用ため池の堤体被害状況の確認
・河川の越水・被災状況の確認
・リアルタイム映像、高画質映像の共有
・遠隔運航による災害対応体制の検証

（４）飛行実績：

日付	主な確認内容	回数
8 月 27 日(木)	志賀町役場近郊	1 回
8 月 28 日(金)	ため池･河川	8 回
8 月 29 日(土)	河川	1 回
8 月 30 日(日)	ため池	2 回
合計		12 回

２ 運用結果

（１）遠隔飛行のドローンの成果

○ 現地へ職員を派遣することなく、ため池や河川の被害状況（概況）を把握
○ 周辺の状況を広域的に確認し、現地調査を行う箇所を絞り込み
○ 県や市町職員によるリアルタイム映像確認及び撮影指示オペレーションの実践
○ 降雨時（7～8mm/時）においても十分な映像品質が確保できることを確認

（２）遠隔飛行のドローンの課題

○ 被害が大きかった羽咋市及び宝達志水町はドローンポートのサービスエリア外であったため、対応できなかった
⇒ドローンポートの配置やサービスエリアの在り方について検討が必要
○ 大雨発生直後の 8 月 27 日は、降雨や強風の影響により飛行機会が限定された
⇒厳しい気象条件下の運用手法について検討が必要

参考

（今回の使用ポート）

（撮影画像）

河川の氾濫状況の把握

ため池の堤体の確認

県庁からの指示の様子

（撮影動画 URL（ダイジェスト））

ため池：https://youtu.be/fTXr8vnvUdE

河　川：https://youtu.be/aWnNSSV8Y4w

（HP の URL および QR コード）

https://www.pref.ishikawa.lg.jp/johosei/digital/dll/drone_gouu.html

※参考：別紙（ＫＤＤＩ㈱資料）のとおり

別紙

2026 年 9 月 4 日

＜企業トピックス＞

KDDI 株式会社
KDDI スマートドローン株式会社
石川県

石川県でドローンを活用した大雨被害状況の緊急調査を実施

～県内に常設したドローンポートから遠隔で出動し、被害状況確認と安全確保に貢献～

このたびの令和 8 年 8 月 27 日からの大雨により、被災・避難された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

KDDI 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：松田 浩路、以下 KDDI）、KDDI スマートドローン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：博野 雅文、以下 KDDI スマートドローン）、石川県（知事：山野 之義）は 2026 年 8 月 27 日から 30 日まで、石川県志賀町において、石川県および志賀町からの緊急要請に基づき、災害時特例制度(注 1)を適用したドローンによる被害状況の緊急調査を実施しました。県内に常設しているドローンポートを活用し、被災地域の早期復旧と住民の安全確保を目的に、4 日間で計 12 回のフライトを実施しました。

今回の調査では、ため池 5 カ所や菱根川・前川などの河川における増水・決壊リスクの確認に加え、道路陥没の被害状況や水没車両の有無を、可視光カメラおよびサーマルカメラを用いて上空から迅速に確認しました。また水没車両については、車内に取り残された方や救助を必要とする方がいないことを確認しました。これにより、危険箇所への立ち入りを最小限に抑えながら被害状況を把握し、災害時の迅速かつ安全な初動対応に貢献しました。
また、撮影した映像および高解像度データは石川県庁および志賀町役場へ即時に共有し、二次災害リスクの低減と復旧方針の策定に活用しています。

これまで石川県と KDDI は、能登半島地震からの創造的復興の推進を目的とする「石川県と KDDI の包括連携協定(注 2)」に基づき、県内 12 ヶ所へのドローンポートの常設や災害時を想定した実証に取り組んできました。今回の調査は、常設ドローンポートや実証時の知見を災害時の初動対応に活用したものです。

3 者は今後も関係機関と連携し、ドローンを活用した災害時の迅速な状況把握と、地域の安全・安心の確保に取り組みます。

＜ドローンで撮影した大雨後の様子＞

＜志賀町役場に常設しているドローンポート＞

（注 1）緊急性の高い捜索・救助活動では、飛行禁止空域や飛行方法の制限を一時的に解除し、迅速な対応を可能にする制度。
（注 2）2024 年 10 月 25 日　ニュースリリース
石川県と KDDI、創造的復興の実現に向けた包括連携協定を締結
https://newsroom.kddi.com/news/detail/kddi_nr-302_3559.html

以　上